

## 地域医療連携総合センターだより

No.47

- I. 眼科のご紹介について  
II. 高気圧酸素治療について

理念: 最新の知識と技術に基づき、良質で信頼される医療を実践します。

発行: 2017. 12 釧路労災病院地域医療連携総合センター



## 眼科のご紹介

## 「眼科」電子カルテシステムを導入しました

当院では、平成27年3月より電子カルテシステムを導入しております。眼科についてはスケッチ・写真を多用する点などにより、他科と同時に稼働することはできませんでしたが、本年9月より眼科電子カルテシステムを導入しました。また、同時に検査機器も更新したため、検査データも電子カルテに取り込めるようになり、患者さんへのより詳細な病状説明や他科の医師・眼科以外のスタッフとも情報共有が可能となりました。今までの「紙カルテを出さないと、これまでの経過がわからない」等の不便さから解放されました。

日常診療でも定期的に受診される方のデータが蓄積されることも可能となり、地域の中核病院として期待される、より質の高い医療を行う基盤として今後も活用していきます。

診療体制は医師1人であるため対応疾患には限りがありますが、地域の先生方と連携強化に努め地域医療に貢献させていただきます。

眼科 海野 茂樹

## 外来担当表

時間	診察室	月	火	水	木	金	
午前	1 診	○	○	○	○	○	午前の受付は8時15分～11時までの受付可能 ※(火・金)については午前10時30分までの受付となっております。
午後	1 診	○	—	○	○	—	

午後の受付は13時～15時まで受付可能

## ～眼科電子カルテシステム導入に伴う更新機器～

- ・3CCD カメラシステム
- ・デジタル眼底カメラ
- ・自動視野計
- ・ノンコンタクトノ/パキメーター
- ・スペキュラ-マイクロスコフ
- ・コンピュータレンズメーター



かいの  
海野副部長

## ■ おわりに

眼科部門システムを導入し、より正確な診断治療が可能となりました。地域の皆さまに良質な医療提供を行えるよう努めてまいります。

# 高気圧酸素治療室

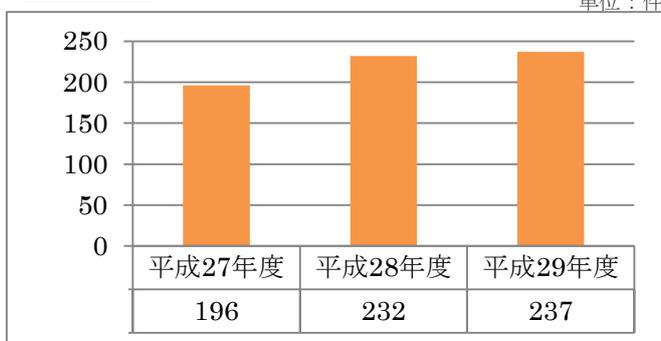
安全で確かな治療を提供し、皆さまの健康に寄与いたします。

高気圧酸素治療室では、突発性難聴をはじめさまざまな疾患の治療をしています。この治療では、装置の中に入り全身を加圧するため、装置の安全については確実な管理体制が求められます。当院においては、装置の操作から安全管理、日常点検までを臨床工学技士が担当し、チーム医療の一員として業務を行っています。高気圧酸素治療室では常に安全で確かな治療提供に努めております。

## 高気圧酸素治療とは

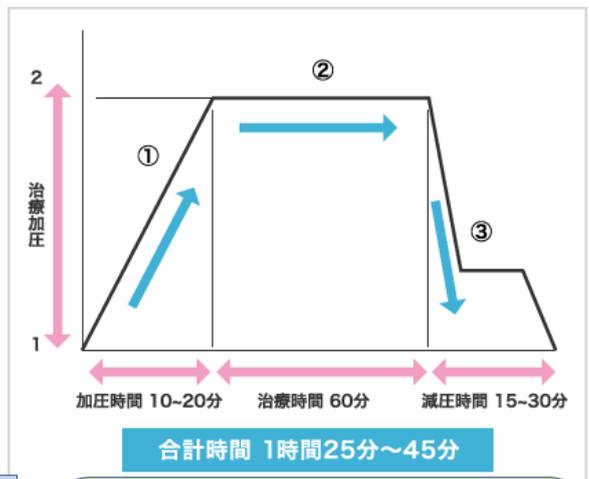
病気やけがで血管が狭くなり詰まってしまうことがあります。その先の血液の流れが悪くなり酸素が届きにくい状態が続くと、細胞が障害され機能が低下します。高気圧酸素治療は、そのような状態でも圧力を利用して酸素を供給する治療です。

## 治療実績



※平成29年度は4月～10月累計

## 治療時間



## 主な効果

- ・体内酸素量の増加により、生体内の循環障害・低酸素状態の改善効果
- ・酸素の抗菌作用を利用し、最近の発育を阻害する抗菌効果
- ・生体内にできた気体を圧縮・再溶解することにより末梢循環を改善し組織の浮腫を軽減させる生体内気体の圧縮・溶解効果

当院では突発性難聴を多く治療しております。また、昨年度より形成外科領域の難治性潰瘍をはじめ、皮膚移植後の虚血皮弁、急性血行障害などの治療を行っており、通院での治療も可能となっております。

## 当院での主な適応疾患

- ・急性一酸化炭素中毒及び間欠型一酸化炭素中毒並びにこれに準ずる中毒症
- ・急性脊髄障害 ・急性動脈・静脈血行障害 ・網膜動脈閉塞症 ・突発性難聴



高気圧酸素治療装置(※最近普及している酸素カプセルとは異なり、医療用治療装置です。)



高気圧酸素治療のお問い合わせは、地域医療連携総合センターまでお願いいたします。